

連携室だより

鹿児島医セン

鹿児島医療センター（循環器・脳卒中・がん専門施設）

2014.9

vol. 101

看護の日 ふれあい看護体験 2014

担当者：村田副看護部長、井手看護師長、田上看護師長、
坂元副看護師長、大迫副看護師長

平成26年8月19日（火）「看護の心をみんなの心に」のテーマで、当院において地域の高校生10名を対象に実際に看護の体験を通して、「いのちの大切さ、思いやり、支え合い」を伝え、「看護」への理解を深める研修を実施しました。

当日は病院見学を外来、薬剤科、放射線科、検査科、ICU、手術室の順序で行い、その後5カ所の病棟で看護の実際、見学及び体験をしてもらいました。

また、看護部長の挨拶や2年目看護師の「看護体験を語る」から、学生は先輩らの看護師になるきっかけや看護学校時代の話を知ることができました。更に看護師として働くこと、看護師の魅力、身近な毎日の状況等聞くことができ、時々涙ぐむ場面も見られ、改めて看護師になりたいと強く感じ、今後の進路選択に繋げることができたのではないかと思います。近い将来、私達の仲間になる日がくることを期待しています。

ふれあい看護体験の学生の感想

今日一日ふれあい看護体験をして、いろいろなことを体で感じ、学ぶことができました。鹿児島医療センターの設備見学をして、薬剤師や放射線技師など病院は本当にたくさんの方がいて成り立っているのだなあと初めて知りました。また、実際に医療の現場で使われている血圧計や聴診器を使って、自分の体がどんな状態を知ることができ、看護師の方々は毎日これを使って患者さんの体の状態を確認しているのだと思い、看護師の仕事はとても細かい仕事であることがわかりました。患者さんと風船バレーをして患者さんの元気な姿に驚かされ、自分もたくさんの元気をもらいました。今まさに進路選択の時期です。正直看護師の仕事は命に関わる仕事なので、自分にできるかどうか不安に感じるときもあります。けれども、患者さんが笑顔になれるような看護師になれるよう頑張りたいです。

（鹿児島実業高校 西村 優香）



第116回 日本循環器学会九州地方会学会賞を受賞

平成26年6月28日（土）、福岡市で開催された第116回日本循環器学会九州地方会において、当院循環器内科からの演題が Case Report Award 優秀賞を受賞しました。

表彰されたのは第二循環器内科の伊集院 駿先生であり、演題は「外傷性三尖弁閉鎖不全症の一例」です。

下記に抄録を提示します。

外傷性三尖弁閉鎖不全症の一例

鹿児島医療センター 第二循環器科、胸部心臓血管外科

伊集院駿、園田正浩、山下恵里香、平峯聖久、下川原裕人、田上和幸、東健作、田中秀樹、塗木徳人、上田英昭、上野隆幸、森山由紀則



【症例】 48歳男性。平成12年交通事故で全身打撲し、半年間入院治療を受けた。平成17年健康診断の胸部レントゲンで心拡大を指摘され、近医を受診した。心エコー検査で重症三尖弁閉鎖不全症（TR）を認め、紹介となった。心臓カテーテル検査、心筋生検で虚血性心疾患や心筋症を示唆する所見は認めず、外傷性 TR と診断した。自覚症状や心不全所見を認めず、内服治療なしで経過観察となった。平成23年から労作時呼吸苦が出現したが、利尿剤内服にて軽快した。平成24年から心房粗動が出現し、心不全となったため、その治療目的に平成25年入院となった。血液検査でBNP46.8pg/ml、胸部レントゲンでCTR63%と心拡大を認めた。心電図は心拍数56/分、2：1～4：1伝導の通常型心房粗動であった。経胸壁心エコーで重症 TR の所見であり、経食道心エコー検査では三尖弁の前尖が右房側に逸脱し、弁輪径は54mmと拡大を認めた。平成26年三尖弁置換術、外科的下大静脈-三尖弁輪峡部線状焼灼術を行った。第21病日に軽快退院となった。

【考察】 外傷性 TR は、鈍的胸部外傷の際に稀に合併し、Parmley らの報告によると、その頻度は心臓損傷剖検546例中9例（1.6%）であった。Zakynthinos らによると、弁損傷の中で大動脈弁が最も多く、次いで僧帽弁となっており、三尖弁の損傷は少ないとされている。本邦での手術報告例は、50例であった。三尖弁損傷の機序として、右室の静脈圧が高まった拡張末期に胸骨に外的ストレスを受けることで、右室流出路の閉塞と三尖弁閉鎖が同時期に起こり、弁尖、腱索、乳頭筋に過度の緊張がかかるためと考えられる。胸部の鈍的外傷を受けた患者に関しては、本疾患の合併を念頭に考え、心エコー検査を積極的に施行するべきである。

発表の内容、プレゼン、質疑応答ともに高く評価され受賞となりました。

伊集院先生は、すぐに英文での論文を仕上げたいと意気込みを語っております。今後ともご支援をお願いします。

（文責：第二循環器内科部長 園田 正浩）



新任職員リフレッシュ研修

7月4日（金）8時30分病院玄関前より、研修生を乗せたバス一行はいむた池に出発しました。昨年と同様に曇り空の中、途中で世界一の水車前で記念撮影を行ってからホテルに9時30分に到着しました。10時からグループワークI・リフレッシュ「就職して印象に残った出来事を語る」のテーマで各グループごとに分かれて模造紙に赤の付箋（嬉しかったこと）、青の付箋（悲しかったこと）を貼り付けていながら意見交換をしていきました。その後、豪華な昼食（バイキング）をみんなで楽しくいただきました。12時30分から室外交流レクリエーションの予定でしたが、足場がぬかるむため、室内レクリエーションに変更となりました。室内レクリエーションは輪っかゲーム（片手のみ、会話なし等の条件を段階ごとに設定して折り紙をはさみで切って輪を作りつなぎあわせる）、伝言ゲームの2つで、各チーム構成員の中でコミュニケーションの統一を学びながら楽しめるカリキュラムでした。14時からは接遇研修について田之頭智子先生に「社会人としての基本」及び「職場内・患者様とのコミュニケーションマナー」に関してロールプレイを通じてわかりやすく実践的な講義をしていただきました。先生のお話の中で「コミュニケーションは基本が大事で社会人になった今の段階で身につけないと後では決して出来ませんよ。」との言葉がとても印象的でした。18時30分からは今村副院長先生のご講話で、「自分の目指してきたもの」についてお話しいただきました。学生時代に哲学に没頭されたこと、脳神経外科を選択された経緯、登山での経験から学ばれたことなど、非常に幅広い分野の視点から興味深いお話しをしていただきました。19時から夕食と懇親会があり研修生の余興を楽しませていただきました。本日までの短い期間の中で、それぞれの研修生チームが息のあった、また個性を生かしたアイデア豊かなアトラクションには大変驚かされました。



2日目、7月5日（土）8時30分から花田院長先生「医療者として目指してきたもの」のご講話の中で、自身の失敗からの考察そしてそこからどう進んでいったのかという貴重なお話を聞かせていただきました。9時からグループワーク・IIリフレッシュ「鹿児島医療センターでの体験からきづいた事、自分たちの目指すこと」について、前日のグループワークで意見交換した内容を再討議し、10時30分から各グループで作成した模造紙をホワイトボードに貼りながら、各グループが決めたテーマについて発表していただきました。各グループ発表後には、研修生が壇上へ上がり、職場長から研修生1人1人に熱い思いで語られたメッセージをお渡ししていただくというサプライズギフトもありました。

当研修は昨年からは病院全体行事として2回目となり、今回は研修生45名と幹部および他職員の18名の総数63名が参加しました。当研修参加の結果として、同職場間及び他職場間で以前にも増してより良いコミュニケーションを取ることが出来るようになったり、また自身による失敗等から一歩前進への智慧の糧とすることが出来たならば、大いに成功したと考えて良いのではないかと思います。

最後となりましたが、当研修会にご協力していただきました田之頭先生並びに職員皆様方に感謝のほど申し添えたいと思います。

（文責：庶務係長 磯部 武嗣）



消化器がんカンファレンス/カンサーボードのご案内

当院では、毎週火曜日午後5時15分から消化器（消化管および肝胆膵）がん手術適応症例を中心に、消化器内科、消化器外科、放射線科、臨床病理、腫瘍内科、臨床研修医、NST、がん関連認定看護師などと合同で症例検討会を行っております。オープンですので、診断、治療、対応にお悩みの症例がありましたら提示していただき、連携を構築しながら共同で検討できればと思います。パラメディカルスタッフ含め、遠慮なくご参加をお願いいたします。

開催日：毎週火曜日 午後5時15分～

鹿児島医療センター 平成26年度 循環器病看護エキスパートナース研修公開講座のご案内

鹿児島医療センターでは、循環器病看護の質の向上を図る事を目的に、10月20日(月)～10月29日(水)、8日間の循環器病看護エキスパートナース研修を企画しております。つきましては、この研修の全講義(4日間)をオープン参加とし、地域の医療職、看護職員の多くの皆様にも参加していただけたらと考えております。

1講座から受講を受け付けており、いつでも無料で受講できますので是非参加していただきたいと思っております。

月 日	日 時	場 所	講 義 内 容	講 師
10/20(月)	9:30～11:00	鹿児島医療センター 研修棟3階	循環器総論	第二循環器内科部長
	11:10～12:00		心エコー検査の実際	臨床検査技師
	13:00～14:30		虚血性心疾患の病態と診断	第一循環器内科部長
	14:40～16:20		虚血性心疾患の治療	第一循環器内科医長
	16:30～17:15		心臓カテーテル検査及び治療における看護	ICU 看護師
10/21(火)	8:30～10:20		心不全の病態生理及び治療	臨床研究部長
	10:30～12:00		心不全患者の看護	集中ケア認定看護師
	13:00～13:50		肺高血圧症の診断・治療	第二循環器内科医師
	13:55～14:40		肺高血圧症の看護	ICU 副看護師長
	14:50～15:40		慢性期患者のセルフマネジメント	糖尿病看護認定看護師
	15:45～17:15		心臓血管外科最新の治療	心臓血管外科部長
10/22(水)	8:30～10:00		救急医療と看護	救急看護認定看護師
	10:10～11:10		循環器の薬物治療	薬剤師
	11:15～12:00		循環器患者の栄養管理	栄養管理室長
	13:00～14:00		心臓リハビリテーション概論	リハビリテーション科医長
	14:00～14:45		心臓リハビリテーションの実際	心リハ指導士
	14:55～15:40	多職種協同における退院支援	退院調整看護師長	
	15:50～17:15	不整脈と治療	第二循環器内科医長	
10/23(木)	13:00～14:00	集中治療と看護	集中ケア認定看護師	

*当院の駐車場は、外来患者さま、ご家族用にご用意しております。研修においでの際は、できるだけ公共交通機関をご利用いただくか、自家用車でおいでの場合は、近隣の有料駐車場をご利用いただけますようご協力お願い致します。

参加希望期日・講座名・施設名・参加者名をご記入の上FAXでお申し込み下さい。(申込締め切り10月6日)

参加申し込み先：鹿児島医療センター 教育担当師長：中村 千鶴 宛 FAX 099-226-9246

皮膚腫瘍科・皮膚科 開設のお知らせ

当院では平成26年10月1日より、皮膚腫瘍科・皮膚科を開設致します。
診療体制については、下記のとおりとなっております。

担 当 医	松下茂人 (皮膚科専門医・皮膚悪性腫瘍指導専門医・がん治療認定医)
診 療 日	月・水・金曜日 (祝日、年末年始を除く)
診療受付時間	午前8時30分から午前11時まで
対 象 疾 患	皮膚腫瘍・一般皮膚疾患

■お問い合わせ先 独立行政法人 国立病院機構 **鹿児島医療センター** (循環器・脳卒中・がん専門施設)

〒892-0853 鹿児島市城山町8番1号

(代)TEL 099(223)1151 FAX 099(226)9246 <http://www.kagomc.jp>

【地域医療連携室】 蘭田・四丸・井手・濱口・森・鷺頭・吉留・山口・酒井・櫻木・竹田津
フリーダイヤルFAX専用▶0120(334)476
※休日・時間外は当直者で対応します。

